

学校法人武蔵野大学

令和7年度

1. 決算の概要

<教育活動収支差額>

教育活動収入は前年度比1,800百万円増の23,419百万円となった。主な増加要因は学生数増加やグローバルコミュニケーション学科全員留学の渡航人数増等による学納金収入の増加、修学支援新制度の交付金の増加等であった。

教育活動支出は前年度比1,512百万円増の20,918百万円となった。主な増加要因は修学支援新制度の奨学金対象者の増加、全員留学等の実施規模拡大等の増加であった。

その結果、教育活動収支差額は前年度比288百万円増の2,501百万円となった。

<経常収支差額>

受取利息・配当金や借入金等利息の教育活動外収支差額を含めた経常収支差額は前年度比375百万円増の2,617百万円となった。

<当年度収支差額>

経常収支差額に特別収支差額を加えた基本金組入前当年度収支差額は前年度比118百万円減の2,502百万円となり、固定資産の取得や将来の固定資産取得のための計画資金等の基本金2,979百万円を差し引いた当年度収支差額は△477百万円となった。

<純資産>

資産は大学図書館の建設等による増加があったが、小平校地の売却等もあり279百万円減の84,395百万円となった。

負債は学校法人会計基準の改正に伴う賞与引当金等による増加があったが、全員留学の渡航時期の変更による前受金の減少、借入金の返済による減少により2,780百万円減の14,126百万円となった。

純資産は有明キャンパスネットワーク機器更新等による第1号基本金の組入、将来の施設取得のための第2号基本金の組入等により2,502百万円増の70,269百万円となった。

2. 貸借対照表 概要

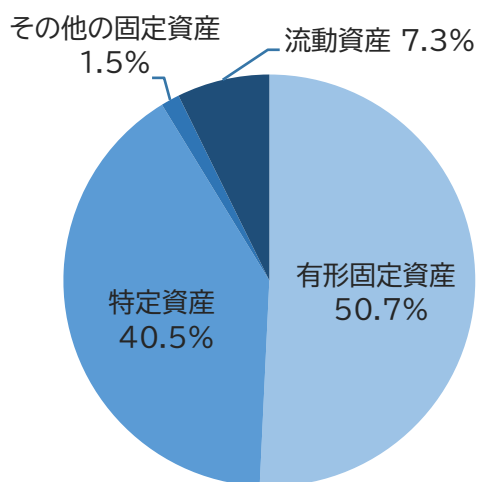
財務健全性を示す自己資本比率は83.3%。負債合計は141億円となり、借入金の返済も安定的に実施。堅実な財務運営により、将来に向けた安定的な財務基盤を確保。

(単位:百万円)

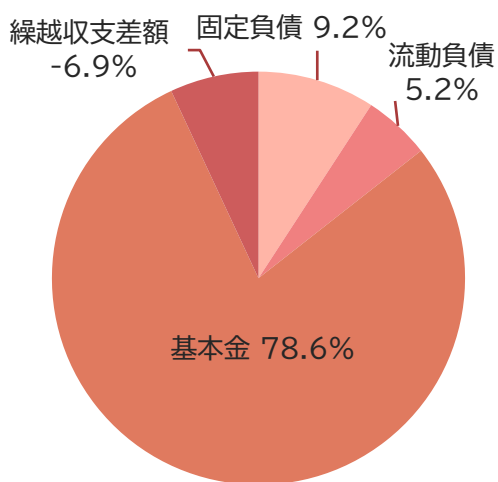
科 目	令和7年 年度末①	令和6年 年度末②	増減 ①－②
資産の部			
固定資産	78,259	76,639	1,619
有形固定資産	42,830	44,157	-1,327
特定資産	34,197	31,255	2,942
その他の固定資産	1,232	1,227	5
流動資産	6,136	8,034	-1,898
資産の部合計	84,395	84,674	-279
負債の部			
固定負債	9,003	11,632	-2,629
流動負債	5,123	5,275	-151
負債の部合計	14,126	16,907	-2,780
純資産の部			
基本金	77,072	75,076	1,996
繰越収支差額	-6,803	-7,309	506
純資産の部合計	70,269	67,767	2,502
負債及び純資産の部合計	84,395	84,674	-279

総資産 **844億円** 負債 **141億円** 純資産 **703億円** 自己資本比率 **83.3%**

【資産の部】



【負債及び純資産の部】



3. 事業活動収支計算書 概要

事業活動収入は245億円と前年度比+23億円(+10.5%)。学生生徒等納付金173億円が安定収入の柱となった。経常費等補助金は44億円(+23%)と大幅に増加。

(単位:百万円)

科 目	令和7年度		
	予算①	決算②	差異①-②
事業活動収入の部			
学生生徒等納付金	17,299	17,298	1
手数料	544	542	2
寄付金	96	104	-9
経常費等補助金	4,384	4,439	-55
付随事業収入	353	349	4
雑収入	385	687	-302
教育活動収入計	23,060	23,419	-359
事業活動支出の部			
人件費	9,614	9,713	-99
教育研究経費	10,112	9,402	709
管理経費	1,646	1,623	23
その他	26	180	-153
教育活動支出計	21,398	20,918	479
教育活動収支差額	1,663	2,501	-838
教育活動外収支差額	121	116	5
経常収支差額	1,783	2,617	-834
特別収支差額	-33	-115	82
予備費	26	0	26
基本金組入前当年度収支差額	1,724	2,502	-778
基本金組入額合計	-2,915	-2,979	64
当年度収支差額	-1,191	-477	-714
前年度繰越収支差額	-7,309	-7,309	0
基本金取崩額	953	983	-30
翌年度繰越収支差額	-7,547	-6,803	-744
事業活動収入計	24,048	24,453	-405
事業活動支出計	22,324	21,951	373

教育活動収入

234億円

(前年度比+8.3%)

教育活動支出

209億円

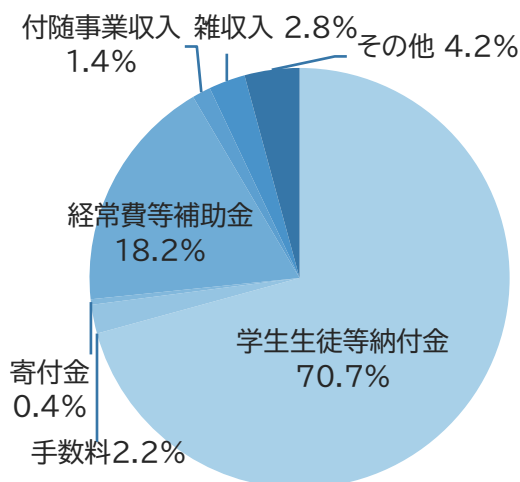
(前年度比+7.8%)

経常収支差額

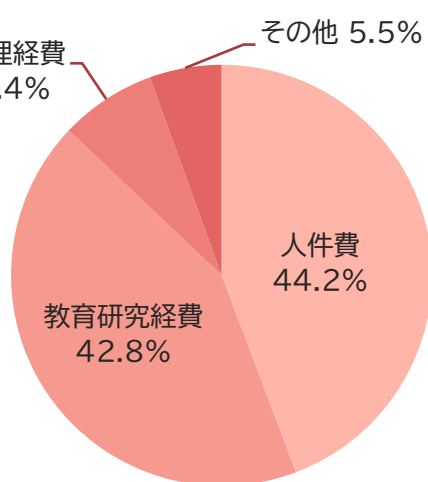
26億円

(前年度比+16.7%)

【事業活動収入】



【事業活動支出】



4. キャッシュフロー(活動区分資金収支計算書) 概要

教育活動資金収支差額42億円を原資として、34億円の施設設備投資を行っており、教育活動で生み出した資金の範囲内で設備投資を賄う健全な財務運営となっている。

(単位:百万円)

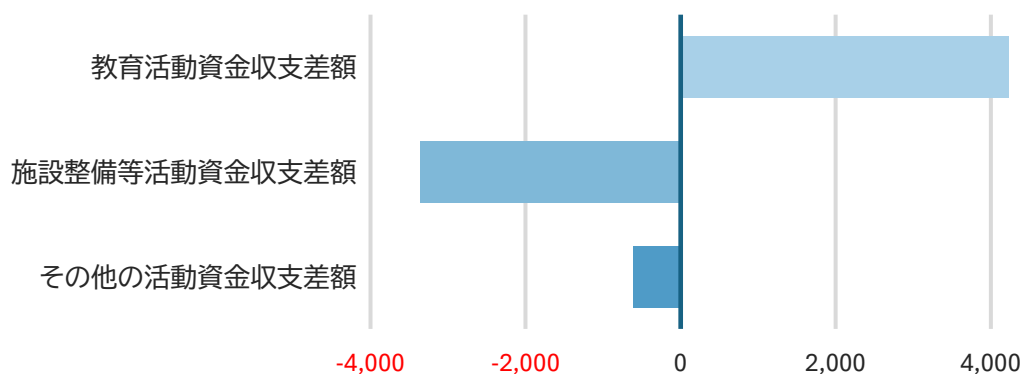
科 目	令和7年度
	決算
教育活動による資金収支	
教育活動資金収入計	23,182
教育活動資金支出計	18,560
差引	4,621
調整勘定等	-388
教育活動資金収支差額	4,234
施設整備等活動による資金収支	
施設整備等活動資金収入計	37,379
施設整備等活動資金支出計	40,673
差引	-3,294
調整勘定等	-70
施設整備等活動資金収支差額	-3,364
小計	870
その他の活動による資金収支	
その他の活動資金収入計	3,196
その他の活動資金支出計	3,795
差引	-600
調整勘定等	-16
その他の活動資金収支差額	-616
支払資金の増減額	254
前年度繰越支払資金	5,124
次年度繰越支払資金	5,377

教育活動によるCF 施設整備等活動によるCF その他の活動によるCF

+42億円

△34億円

△6億円



5. 財務比率

指標	令和6年度	令和7年度	計算式
自己資本比率	80.0%	83.3%	純資産÷総資産
経常収支差額比率	10.3%	11.1%	経常収支差額÷経常収入
教育研究経費比率	37.6%	38.5%	教育研究経費÷事業活動収入

<自己資本比率>

総資産のうち、純資産が占める割合を示す。借入金に依存しない「財務の安定性と安全性」を測る指標。

<経常収支差額比率>

経常収入のうち、経常収支差額が占める割合を示す。「経常的な経営の健全性(収支バランス)」を測る指標。

<教育研究経費比率>

業活動収入のうち、教育研究経費が占める割合を示す。学生の「学修環境向上・充実へ還元」を示す指標。